

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 公衆衛生大学院 小林大輝

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 公衆衛生大学院 小林大輝

当院に入院し抗菌薬（タゾバクタム・ピペラシリン：ゾシン®、タゾピペ®）にて治療された方を対象とした、効果と副作用を検証する研究

### 1. 研究の対象

2005年1月1日～2018年12月31日の間に、当院に入院し抗菌薬(タゾバクタム・ピペラシリン)にて治療された方

### 2. 研究の目的・方法

タゾバクタム・ピペラシリンは幅広い菌種に効果のある抗菌薬です。通常は静脈点滴にて使用されますが、点滴が確保できない場合は皮下点滴を行います。今回の研究で、静脈点滴をした際と皮下点滴をした際での効果の違いを検討します。

なおこの調査では、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、性別、既往症、血液検査、抗菌薬の使用状況、入退院状況、等